

令和4年度 前田さくら保育園自己評価について

(実施) 令和4年3月～令和5年3月

自己評価チェック

1 よくできている 2 まあまあできている 3 あまりできていない 4 まったくできていない

1. 保育の計画性

1.園の保育理念・保育方針								
・園の保育理念や保育方針を理解し共感している								
・園の方針、園長の考え方について								
2.幼稚園教育要領・保育所保育指針の理解								
・幼稚園教育要領・保育所保育指針を理解し、幼児の姿や環境の構成、保育士との関わりなど具体的な事例を思い浮かべることができる								
3.教育課程の編成と評価								
・園の教育課程は、幼稚園教育要領・保育所保育指針を踏まえ園の保育理念・保育指針に従い、編成している								
・半年間・1年間の子どもの成長を振り返り、保育過程を評価している								
・園の保育過程は社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている								
4.指導計画の作成								
・指導計画は、幼児の興味や関心、これまでの生活や予想されるこれからの生活などを考慮し作成している								
・行事は、幼児の生活上の意義を十分検討した上で、指導計画に組み入れている								
・支援が必要な子の情報交換内容などを、記録に残している。								
5.環境の構成								
・指導計画に基づいて、幼児が主体的に関わりたくなるような安全で清潔感ある環境構成をしている								
・楽しい雰囲気の中で、安定して遊び込めるように遊具や用具、素材など質・数量を配慮して環境構成をしている								
・幼児の活動がより豊かになるように幼児の発想を柔軟に取り入れ、活動の展開や季節の変化に応じた環境構成をしている								
・異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている								
6.保育と計画の評価・反省								
・自分の保育と評価・反省について次の保育と計画に生かせるよう行っている								
・お互いに保育を見せ合い、検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育に繋げている								
1.園の保育理念・保育方針								
集計結果	1	40.0%	2	50.0%	3	6.2%	4	1.4%

2. (1) 保育の在り方、対応や関わり方

1.健康と安全への配慮								
・朝の登園時は特に視診を大切にして幼児の体調が悪くないかを確認してみる								
・体調が悪そうなときは静かに寝かせたり、検温するなどし、万が一事故が起きた場合には適切な処置を行いすぐに家庭や関係機関に連絡している								
・保護者から健康状態等の申し出を受ける等、アレルギー・熱性けいれん・脱臼症などの既往症について把握する								
・睡眠が十分に取れるような静かな環境を整え、午睡を促している								
・家庭と連携を取りながら一人ひとりに合わせて離乳食の移行を行い様々な食品に慣れ、食への意欲を育てている								
・睡眠が十分に取れるような静かな環境を整え、午睡の状態（呼吸・顔色・嘔吐・汗）および SIDS（乳幼児突然死症候群）のチェックをし記録している								

・一人ひとりの排泄間隔を把握し、その子の生活リズムに合わせておむつ交換をしたり、トイレに促している								
2. 保育士同士の協力・連携								
・クラスに関係なく、その場にいた保育士が適切な言葉かけを対応し、情報を共有している								
・指導上配慮を必要とする幼児については、園の職員全体で話し合い、共通理解を持って工夫し対応するようにしている								
・他クラスや異年齢の幼児たちと触れ合うよう様々な工夫や保育の形態を取り入れている								
集計結果	1	68.8%	2	25.0%	3	4.4%	4	0.5%

3. 保育士としての資質や能力・良識・適正

1. 専門家としての能力・良識・義務 {専門家としての能力}								
・保育に携わる者として専門知識や技能を身につけている								
・保護者に対し、園児のことや自分の保育のことを分かりやすく話すことが出来、保護者との信頼関係をつくることに努めている								
・保育士並びに他職員が仕事の手順を考え、能率よく行っている								
・保育士の人間性が子ども達に影響を与えることを自覚している								
{良識とマナー}								
・園児や保護者との対応には、公平さを欠かさないようにしている								
・朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めて行い、感謝の気持ちを言葉などで表している								
・園の消耗品や教材は節約して使い、私用に使っていない								
・服装・髪型・身だしなみなど、清潔感ある物を心掛け、安全性にも気をつけている								
{義務}								
・教材・教具の管理・点検・園内外の清掃や整理整頓を実行している								
・締め切りある仕事や提出物の締切日、会議や打ち合わせの時間をきちんと守っている								
2. 組織の一員としての在り方								
・他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べるができる								
・子どもの事・クラスの出来事などで必要な事は園長や主任に報告・連絡・相談している								
・当番や役割による仕事を理解し、確実に行っている								
・上司の指示・命令には責任をもって実行している								
3. 周りを感じ取れる感性・アンテナ								
・園児・教育・保育に関する情報を日頃から得ようとしている								
・社会情勢や季節の変化などを感じ取る感受性を大切にしている								
集計結果	1	75.0%	2	25.6%	3	0.6%	4	0.3%

4. 保護者への対応・守秘義務

1. 情報の発信と受信								
・個々の子どもの様子は直接保護者と話をしたり、連絡帳・おたより帳等を使って伝え合っている								
・個人面談等を行い、子どもについて保育や家庭での在り方について共通理解を得るように努めている								
2. 協力と支援								
・保護者からの様々な訴え・要望・意見については安易に受けたり、断ったりせず、園長や副園長、主任等に相談している								
・必要な場合は、自園の苦情解決システムについて保護者に説明できる								

3.守秘義務の遵守								
・職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしてはいない								
・秘密情報（保護者・園児等に関する個人情報・および園の運営上の情報、保育技術・保育計画の情報）については園長の許可なく使用・開示・漏洩していない								
・秘密情報の帰属は園または法人にあることを認識し、書類・電子データは持ち帰らないようにし、どうしても必要な場合は園長・副園長または主任の許可を取って行っている								
・秘密情報について新たに知り得たことについては、直ちに園長に報告している								
4.対応上のマナー・良識								
・正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて話しかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている								
・親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない								
・電話では簡潔に要領よく対話することを心掛けている								
・保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応している								
5.クレームの対応の仕方								
・保護者からのクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長または副園長に連絡・報告・相談している								
集計結果	1	76.0%	2	22.6%	3	3.8%	4	0.8%

5. 地域の特徴を生かした保育の展開

1.地域の自然・人々とのかかわり								
・子どもの医療や保健に関する問題及び地域の住民から受けた相談の内容について相談および連絡先を把握している								
・実習生を受け入れるときは、意義や方針を理解し、指導的立場で接している								
・学生の保育体験やボランティアを受け入れる時は、その目的や意義を理解・確認している								
・野菜を育てたり、収穫した物でクッキング等、地域の気候を生かした保育を実践している								
2.小学校との連携								
・園の保育内容が小学校の準備としてつながることを理解している								
・卒園した子どもの情報を得るように努めている								
・小学校が園での子どもの育ち方について、どのような情報を必要としているか理解するよう努めている								
集計結果	1	27.7%	2	37.3%	3	30.9%	4	3.9%

6. 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度

1.研修・研究への意欲・態度								
・研修会や研究会には自己課題を持って参加し、事前にその内容を確認したり自分なりの考えをまとめている								
・自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行うとともに、保育の在り方や悩みについて他保育士や主任、園長と話し合っている								
2.遊具・教材に関する専門性の向上								
・園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方を知っている								
・園の遊具や教材についてどんな使い方をするのか、どのような使い方が危険か予測できる								
・子どもたちの安心・安全に関する危機管理について興味・関心を持っている								
集計結果	1	34.4%	2	55.5%	3	4.4%	4	0%